

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 木/2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	現代の生命像 ( Contemporary Views of Life and Death )		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 総合科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員：上江田 一雄 / Eメールアドレス： <a href="mailto:kazuo-u@nagasaki-u.ac.jp">kazuo-u@nagasaki-u.ac.jp</a> / 研究室：環境科学部 424-1 号室 / オフィスアワー：特別に設けませんので、質問等のある受講者は、前もって電話等でアポイントメントをとってから来室してください。なお、電子メールで質問しても結構です。			
担当教員(オムニバス科目等)	田原 靖昭(教育), 兼松 隆之(医学), 生野 正剛(環境), 菅原 潤(環境), 戸田 清(環境), 富永 義則(環境), 若木 太一(環境), 上江田 一雄(環境)		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい：生とはなにか。死とはなにか。人間の最も根源的な問題である生と死をめぐって、人間は太古の昔からさまざまな視察をめぐってきました。この講義では、生命科学の最前線を多様な角度からわかりやすく解説することによって、現代における生命像を総合的に捉える視座を提供します。 授業方法：プリントおよび視聴覚教材を使って講義します。 授業到達目標：生とはなにか、死とはなにかを理解することです。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 生とはなにか、死とはなにかを、化学、法学、哲学、医学、運動生理学、文学、社会学および薬学の視点から講義します。  第1回 生命とは 物質科学的側面 (上江田) 第2回 生命とは 熱力学的側面 (上江田) 第3回 法学から見た人間の生と死1 (生野) 第4回 法学から見た人間の生と死2 (生野) 第5回 生活の視点からの生命倫理 (菅原) 第6回 生・死と臓器移植 (兼松) 第7回 サバイバルな体力1 (田原) 第8回 サバイバルな体力2 (田原) 第9回 中世・近世の死生観1 (若木) 第10回 中世・近世の死生観2 (若木) 第11回 優性思想と障害者問題 (戸田) 第12回 生命工学と環境問題 第13回 健康と薬1 (富永) 第14回 健康と薬2 (富永) 第15回 予備日			
キーワード	生, 死, 生命		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しません。随時プリントを配付します。 各担当教員の参考図書のリストは第1回目の講義の時に配付します。		
成績評価の方法・基準等	「講義の概要・コメント」レポート(70%)および「参考図書」レポート(30%)で評価します。 「講義の概要・コメント」レポートは、大学教育機能開発センター事務室の指定のボックスに毎回提出してください。締め切り日は、講義の翌週の水曜日午後5時です。 担当教員の中から1人を選び、その教員の参考図書を1冊読んで、講義との関連で「参考図書」レポートを作成し、学期末に提出してください。「参考図書」レポートの詳細については12月にお知らせします。		
受講要件(履修条件)	ありません。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	特にありません。		
備考(準備学習等)	特にありません。		